

教育課程をチェックしてみましょう。

今、教育課程をチェックして、改善することが、平成23年度のスタートにつながります。

## 道徳

地域や児童生徒の実態をふまえ、指導内容の重点化がなされている。  
道徳教育の全体計画（2枚目以降）が作成されている。  
道徳教育推進教師を中心とした、道徳教育の指導体制が確立され、全体計画の中に明示されている。  
全体計画・年間指導計画の内容項目が、新しい内容項目へ変更されている。

旧3-(2) 新3-(1) (小学校・全学年、中学校)  
旧1-(2) 新1-(1),1-(4) (小学校・中学年)  
旧4-(1) 新4-(4) (中学校)  
新設2-(6) (中学校) など

## 特別活動

学級・学校の実態や児童生徒の発達段階及び特性を考慮して、特別活動の重点目標及び各活動と学校行事の目標を示している。  
全体計画に各活動、学校行事の概要(全体的内容、時数、組織)を示している。  
全体計画に各教科、道徳及び総合的な学習の時間等の指導との関連を示している。  
全体計画・年間指導計画の内容の項目が、新しい内容に変更されている。

### 【小学校・中学校共通】

学校行事の「学芸的行事」が「文化的行事」へ

【小学校】学級活動の(1),(2)の中項目を新しい項目へ  
(1)のウを新設 (2)のウ、エ、キを変更

【中学校】学級活動の(1),(2),(3)の中項目を新しい項目へ  
(2)のア、カ、ケを変更 (3)のア、エ、を

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して  
自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成すること  
学び方やものの考え方を身に付けること  
問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てること  
自己の生き方を考えることができるようにすること

## 総合的な学習の時間

各学校における目標は学習指導要領（目標）に定められた5つの内容をふまえている。  
育てようとする資質や能力及び態度には、学習方法、自分自身、他者や社会の3つの視点がバランスよく含まれている。  
各学校において定める内容には、学習対象、学習事項の2つが入っている。

## 小学校外国語活動

児童や地域の実態に応じた各学年の目標が定められ、2学年を通して小学校外国語活動の目標の実現が図られている。  
完全実施（各学年35時間）に向けた、年間指導計画が作成されている。  
学級担任主体の授業を基本としながら、全職員で小学校外国語活動を実施するための研修体制と研修計画が整備されている。

学校教育目標達成に向け、チームリーダーを中心とした協同的な指導体制を確立することが大切です。